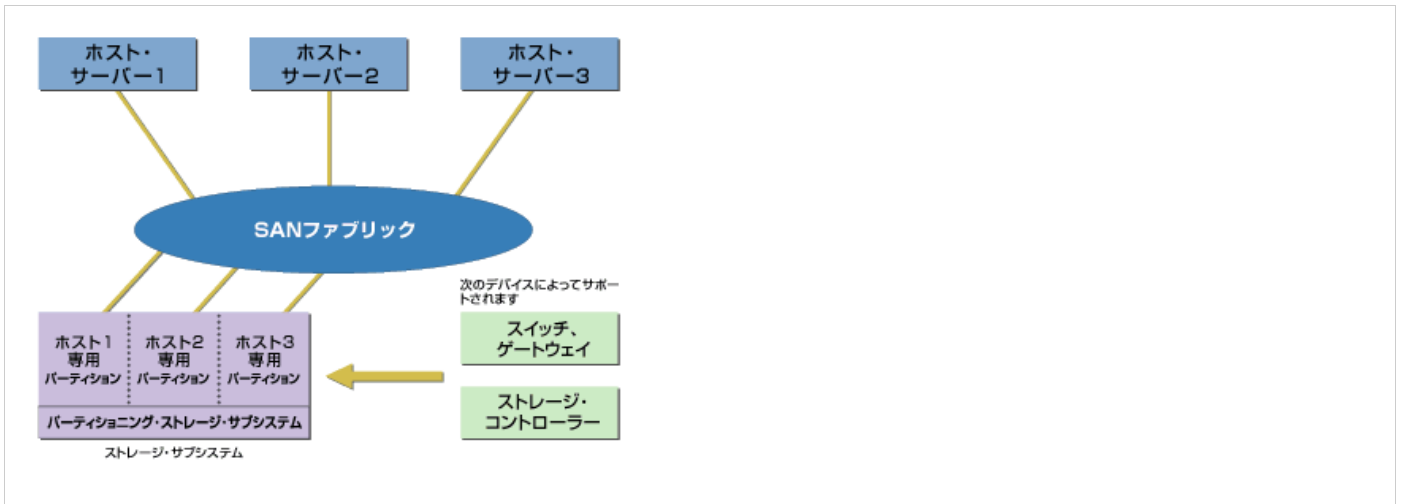


パーティショニング・アクセス



「ストレージ・コンソリデーション」という言葉をよく使用しますが、これはパーティショニングされたストレージを複数のホスト・サーバーに提供するために、1台のストレージ・サブシステムを使用することを指しています。ストレージのある領域(区隔)には1台のホストしかアクセスできないので、並行アクセスに対応する必要はありません。上記の例では、ESS内のストレージを3台の異機種ホスト間で分割し、別のホスト・サーバーからはアクセスできないようになっています。

「ストレージ・コンソリデーション」を行うと、管理すべきストレージ・ボックスの数が削減され、必要時に必要箇所に容量を追加または割り当てる柔軟性を持たせることが簡単にできるようになります。これは、サーバー・コンソリデーションへの第一歩となります。

「ストレージ・コンソリデーション」を実現するには、SANが必須というわけではありません。たとえば、ESSのような高度なストレージ・サブシステムは、複数のホスト・プラットフォーム接続を可能にする接続オプションを持っています。一方、SANの導入目的は、任意のサーバーから任意のデバイスへの物理アクセスを可能にすることにより、接続の均一化を支援することにあります。また、SANのファイバー・チャネルは、SCSIプロトコルに伴う距離や接続性の制約を緩和することができます。